

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東海)	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・個人旅行はマイカー利用の若年層を中心に増加している。高年層のバス旅行は遅々として回復しない。旅行形態が大きく変わってきている感が否めない。
	◎	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・4月に入って来客数が伸長しており、例年と比べても全体的に来客数が多い。特に平日夕方と週末が伸びている。急に暑くなったこともあり、飲料や酒などの消費が好調である。
	◎	旅行代理店（営業担当）	単価の動き	・航空運賃、観光地の宿泊費やバス代などが高騰しているが、客もそれを理解しており、旅行単価の上昇につながっている。
	○	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・インバウンドが好調である。
	○	スーパー（店長）	お客様の様子	・前年より少し売上が上がってきている。
	○	スーパー（店員）	来客数の動き	・大型店の閉店により、その店を利用していた客が確実に自店に流れており客層が変わってきている。
	○	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・値上げ基調は変わらないが、生活必需品の購入には余り影響がない様子である。米や燃料の高止まりも他の食品や代替交通で何とかカバーしている。
	○	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークに入り天候も良いため、週末のみでなく平日も来客数が増加した。
	○	コンビニ（店長）	単価の動き	・値上げ以上に客単価が伸長することで、売上は増加傾向である。特に米飯やパン類が好調である。高価格帯の商品でも売上は好調だが、米不足による米飯の値上げがかなり激しいため、不安が大きい。
	○	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・売上が前年比では数%増加している店舗が多い。来客数が前年割れしている店舗も客単価の上昇により売上が前年を上回っている。
	○	コンビニ（商品企画担当）	単価の動き	・値上げの影響による客単価の伸長が来客数の伸びを上回っており、引き続き売上が伸長傾向にある。
	○	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・人気車種の多くは販売停止で購入できないが、少ない販売枠を多くの人々が求めるため値引きをしなくても売れる状況であり、販売台数は減っても利益が出るようになっている。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・国内外の多くの自動車メーカーが生産を停止したり遅らせていたりしていることで、売れる月と売れない月の境がなくなってきた。通常売上が落ち込む4月が3月以上に売れ、新規客の来店も多かった。
	○	その他専門店〔書籍〕（社員）	販売量の動き	・新年度向けの需要が増え、販売量の増加がみられる。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	来客数の動き	・足元は堅調だが、今後の物価高、米国の関税の動向など景気に影響する面があり注視が必要である。
	○	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・今月の営業成績は前年比、予算比ともに上回る見込みである。桜見物目当てのインバウンドや月初めの国際的な自動車レース開催など大きな宿泊需要があった。
	○	都市型ホテル（総支配人）	単価の動き	・宿泊は、季節要因でインバウンドも多いため価格も上昇傾向である。レストランは昼を中心に客足が伸びる。
	○	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・大阪・関西万博が始まり、社会的に大きな不安要素もみられないため景気はやや良くなりつつある。
	○	美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・今月から開始したキャンペーンの成果があり、新規客の来店が増えた。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・3か月前は非常に寒い時期で出足が悪かったが、その頃に比べると最近では天候が暖くなり外出の機会も増えたため来客数もそれなりに伸びた。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は依然として高止まりしている。客単価は物価上昇と購買数減少の相殺で横ばいである。	

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	お客様の様子	・米や野菜等の食料品やガソリンなど生活必需品の価格が上昇を続けており、家計を圧迫している話をよく聞く。生活必需品以外に消費を回す余裕のない人が多く見受けられる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・仕入価格は上がっているが、極力値上げはしないよう努力している。販売量はほぼ横ばいが続いている。出費が増えているため必要な物だけを買う様子が見える。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・新年度を迎え、商品値上げがあったなかでも大企業を中心に前年並みの注文及び売上があった。ギフト業界においては、大手企業は良好だが、中小企業や個人は物価高で節約傾向にあり財布のひもが固くなっている。大企業が伸びているにもかかわらず、値上げの影響で中小規模・個人の売上が伸びないため全体としての売上は変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店の来客数が少ない。来客数がゼロ、若しくは1組しかいないという話をよく聞く。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・天候が良くなり来客数は増えているが、購買に結び付かない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・来客数など客の動向は前月と余り変わりがないが、ここ最近は大阪・関西万博の影響か、一時減少していたインバウンドが増えてきた印象を受ける。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・百貨店の客の購入方法は変わらない。金額の大きい物でも、必要な物や欲しいと思う物は迷わず買う。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	単価の動き	・購買意欲の低下はみられないが、高価格帯やまとめ買いが減少している。中価格帯が稼働しているため、来客数は大きく変わらないが売上は伸び悩んでいる。インバウンドは安定しているが、こちらも中価格帯の動きが大きい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・ガソリンや電気代への補助が検討されているが、どれも一時的なもので、まだ商品の値上げが続くなかでは消費者の節約志向は続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	単価の動き	・春休みの行楽シーズンを迎えて飲料や菓子などの売上が上がったが、米の値段の高止まりや豆腐などの値上がりは売上に微妙に影響を与えている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・米の品薄、商品の値上げはあるものの、トータルの売上は以前と同様に好調である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年割れしている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	単価の動き	・最近では来客数に増減がない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・客の節約傾向を強く感じながらも、4月は比較的天候にも恵まれ、各種キャンペーンなどの販売促進企画も効果を示し、前年比100%であった。来客数は微減、客単価は微増で売上としては同額となった。可もなく不可もなくといった印象を受ける。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	お客様の様子	・日本人客の動きはここ数か月特に変わっていない。インバウンドが週末や夜間に安定的に来店している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	単価の動き	・4月の日商前年比は速報で102.4%であった。物価高による客単価上昇で店舗の日商も伸長した。ただし、この現象は本質的に景気を押し下げる可能性があり、油断ができない状況である。現時点では日商が上昇しているが、物価高の効果が今後凶と出る可能性もあり景気の方向性が読めない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・法人の注文が減少しており、物価上昇や関税の問題で地域経済が冷えている。経費での大量注文を控える傾向がある。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・商品によって動いているものと止まっているものがある。全体的に、例年どおりの売上である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・必要な物以外は購入を控えたいという客の声がある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・車検など必要最低限は実施するが、点検の来客数が減っている。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年4月に入ると販売台数が下がるが、今年は販売台数が安定して増えている。納期が遅れていることが気掛かりである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・客との会話で、生活に必要な物の価格が高くなり生活が苦しい、生活にゆとりが持てなくなったという声が多く聞かれる。物価上昇により、生活を切り詰めなければとの感覚が強くなり、今必要とされるものの購入を第一に考え、それ以外の物への購入意欲は更に弱まっている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・ランチの来客数は増加傾向にあるが、ディナーは前年並みで推移している。4月は週末にかけ歓迎会やハレの日の需要が好調に推移している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・常連客は高齢者層が多いため、体調に不安のある人が増えて来店が少なくなっており、難しい経営状態である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (従業員)	単価の動き	・値上げの連絡が後を絶たない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	お客様の様子	・次々と物価が上がっているが、物価上昇に対して消費者はそれほど悲観的ではない。給与も上がっており、生活は楽ではないが消費を控えるまでには至っていない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・年明け以降、インバウンドの増加はそれほどみられないが、天候の良さと、団体客の予約の後に個人客からのネット予約が入ったことにより団体客と個人客のバランスがうまくかみ合い、結果として前年比では5～8%ほど宿泊客数が伸びている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・米国の関税など気になる動きはあるが、現段階で直接的な影響はまだみられない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・来客数、客単価は良い状態を維持しているが、為替の影響や株の乱高下など不透明な要素を含んでいる。レストランの同窓会、歓送迎会や企業接待等の利用は変わらず高止まりしている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・物価の上昇が個人客の懐具合に影響しており、旅行に対する出費が控えられている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・客の動向が2極化しており、趣味などをいかす旅行については前向きな参加傾向にあるが衝動的な旅行はやや減っている。ただし、大阪・関西万博については60代から70代がテレビで見ていて興味がわいた様子で、問合せも増えている。夏の旅行についても少しずつ問合せが増えているが、北海道や沖縄が人気で、海外旅行はアジア圏が多い。中にはグアムやハワイを計画する話も出ているが、宿泊先をどのホテルにするかが悩ましく、値段には大変厳しい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (営業担当)	お客様の様子	・ホテル宿泊料金が首都圏、関西都心部を中心に尋常ではない値上がりが続けており、高騰した宿泊料では旅行を見直したり、取りやめたりする客が増えている。ゴールデンウィークに突入したが旅行に出掛ける人は頭打ちの状態、減ることはあっても増えることはない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	お客様の様子	・季節の移り変わりとともに客の動きは良くなっているが、週末はそれなりの出足があるものの、週初めは非常に出足が悪く、全体の動向としては以前から変化がみられない。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (企画担当)	販売量の動き	・解約件数は前月に続いて低めに推移しているものの、新規契約件数もさほど伸びておらず、どちらももいえない状況である。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは前半が飛び石連休であるため、前年より来客数が少ない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員 (総務担当)	来客数の動き	・イベント等の開催日は比較的良い天候に恵まれたが、来客数は思ったほど伸びず、ここ最近では前年度よりやや多い状態で推移している。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (案内係)	お客様の様子	・周りから景気が良いという話はほとんど聞かない。
<input type="checkbox"/>	美容室 (経営者)	お客様の様子	・客との話では誰もが物価高を嘆いており、あまり景気が良い状態ではない。

□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・悪い状態が変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・3月が終わり客足はゴールデンウィークまで小休止である。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・材料費や人件費の高騰で販売量が横ばいである。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	単価の動き	・単価が高くなり売上が上がらない。
▲	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・米国の関税問題がどうなるか先が見えず、景気に影響する。
▲	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・開店から15時頃までは来客数に対して購入に至る客が少なく、売上が伸び悩む時間帯である。インバウンドがまた少し増えてきたが、商品のみをみただけで実際に購入する人は少ない。
▲	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・食料品、特に米の値上げについて報道される機会が多く、消費者が衣料品や雑貨などの購買を控えている。また、株値の乱高下などによる逆資産効果により、高額品の受注が低減傾向にある。米国関税の影響や、4月前半の気温が低かったこと、インバウンド需要が一巡して前年を下回ったことから、これまで好調だった売上也厳しい状況である。
▲	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・客単価が下落していることに加え、インバウンドの売上が大きく落ち込んでいる。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、買上点数が前年を超えない。
▲	スーパー（経営者）	販売量の動き	・国産の野菜や果物の高騰、品不足が続き、加工品や輸入品に移ったものが幾つかあったことで、売上が減少している。
▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・アルコール飲料の売上が激しく落ち込み、全体の売上也前年割れとなった。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・デパートに出掛けたら売場が変わっていて疲れてしまったとあって来店し、自店のリピーターになってくれる客が少しおり、老舗として長く商売をしてきたかがある。
▲	衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・時期的にオフィスカジュアルが中心となり、スーツが売れなくなっている。1～3月と比べ、全くスーツが売れない日が多くなった。オフィスカジュアルの商品を店頭に出しているが、立地が大手ファストファッションブランドの隣であるためそちらに客が流れてしまう。いくら質の良い商品でも、ファストファッションに比べると価格が高いため客足が遠のいている。今月の売上はかなり落ち込んでおり、夏に向けてどうばん回するかが検討事項である。
▲	家電量販店（店員）	単価の動き	・必要最低限の買換えのみで、価格は抑えめの商品が選ばれがちである。
▲	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・今月の後半にエアコンが動き始めたが、全体的に目的を持って来店する客がほとんどで、その分しっかりと商品や価格を調べてきており、納得いく価格でないとなかなか購入に至らない。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークに入って来客数が減少している。自店のような小型店には目的買いの来客が多いが、日用品の売上が減っている。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車種が発売されないこともあり、来客数が減り、4月としてはコロナ禍並みの実績であった。ガソリンの価格高騰の影響もあり、軽自動車は好調だが、普通車の売行きは芳しくなく、良い状況ではない。
▲	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・例年の4月と比べると若干動きが鈍い。全体的な販売量はそれほど変わらないが、来客数、アクセス数共に例年よりやや少なく、3か月前と比べてもやや鈍い。

	▲	住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・米国関税の影響の様子をみて新築・改修工事を考えるという声が出始めている。小規模物件については改修工事が予定どおり続いているが、新築物件の需要減少が心配である。
	▲	その他専門店 [貴金属] (経営者)	来客数の動き	・入学・新社会人のシーズンであるが、今年は物価高騰、米国関税、米価格高騰や国内政治不安などの問題材料が多く、消費者購買心理が低迷している。
	▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新年度になり、客の生活環境が変わったため来客数が減少している。
	▲	その他飲食 [仕出し] (経営者)	単価の動き	・物価高や米国の関税の不安感などマイナスの要素があるなかで景気はネガティブな方を向いている。
	▲	旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・個人需要は減っていない。
	▲	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・米の高騰を始めとして、様々な飲食料品などが値上がりしており、消費者はメリハリのある買物をしている。近隣に高級品スーパーが開店したが、駐車場は空きが目立ち、客も割引品などを目当てに時間帯を決めて訪れている様子である。
	▲	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・大阪・関西万博、パンダの中国返還やゴールデンウィークの日並びにより悪影響が出ている。
	▲	ゴルフ場 (経営者)	お客様の様子	・価格転嫁に対する反応がシビアである。
	▲	パチンコ店 (経営者)	販売量の動き	・売上の減少がみられる。客の来店頻度が明らかに減っている。
	▲	パチンコ店 (従業員)	販売量の動き	・自営業所を含む市場全体が来客数、売上ともに微減した。集客施策の費用対効果が薄い時期でもあるため、イベント実施に対し消極的である。
	▲	理美容室 (経営者)	来客数の動き	・季節的に4月は天候が暖かくなり来客が期待できる時期だが、あまり来客数が伸びない。
	▲	美容室 (経営者)	お客様の様子	・物価の上昇が厳しく、美容院への支出を抑えている様子がかがえる。
	▲	その他サービス [介護サービス] (職員)	単価の動き	・介護保険サービスの福祉用具貸与で10月以降反映の上限価格が発表される。先日新規採用した商品の価格も、早速価格調整で14%ほど値段を下げる必要が出てきた。
	▲	設計事務所 (職員)	お客様の様子	・客から景気が良くなるような話を聞かない。
	▲	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	単価の動き	・売上は横ばいで良くない状態が続いている。仕入価格が今後下がる見込みはなく、販売価格にそのまま転嫁することもできないため苦戦が続く。
	▲	その他住宅 [展示場] (従業員)	お客様の様子	・新年度に入り、現地事務所の規模縮小などの再編成を進める企業が多くなった。
	×	商店街 (代表者)	お客様の様子	・米価格が高騰しており、その他の物も4月に入って大きく値上げされた。収入が定期的には増加しているわけではないため、物価が上がれば生活が苦しくなり財布のひもは固くなる。この状況で景気が良い方向に向かうわけがない。
	×	一般小売店 [結納品] (経営者)	単価の動き	・例年は春になると少し上向くものだが、今年は全くその気配がない。
	×	百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・米国の関税の影響により、特に富裕層の消費マインドが著しく低下している。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・物価高騰に対する政府の政策にはあまり効果がみられない。
	×	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・建築資材が値上がりし、なかなか利益が出ない。
	×	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・今まで休みがなかなか取れないとっていた下請業者が土日に休めるようになった。
企業動向関連	◎	—	—	—
	○	化学工業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・最先端のA I向けに使用される電子材料薬品用クリーン容器の需要が国内、海外ともに好調である。

(東海)	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月はメインの取引先の年度替わりで、全体的に設備投資の対象となる項目が多かったため受注量が増加した。
	□	食料品製造業（社員）	取引先の様子	・国内外ともに受注量は大きな変化がない。
	□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・米国の関税で株価や為替の乱高下が発生しているが、直ちに日本経済に悪影響を及ぼしているわけではない。初任給の引上げやそれに伴う既存社員の処遇向上が報道されており、現状は横ばいでとどまっている。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・半導体関係の回復によって客の稼働は順調で、電動車両に関係する二次電池や磁石関連も順調に稼働している。
	□	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年は例年と比べてプロジェクトの動きが鈍いといわれており、実際受注量もさほど伸びていない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産量に数%の増減はあるものの、ここ3～4か月ほど横ばいが続いている。
	□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先の生産計画をみると、ゴールデンウィーク明けからやや微増する。
	□	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・いまだ続くガソリン、米の価格高騰、各種値上げでいつ物価が安定するのか、不安しかない。
	□	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・建設業としては先々まで受注が安定している。不動産分譲は、年度が替わった4月は客の動きが鈍く、成約件数も予定を下回った。
	□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の経営状態が余り良くないため、支払が分割になり価格の見直しの相談をよく受けるようになった。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内消費財の荷動きが悪い状態が続いている。海外商品の輸入頻度も下がっている。
	□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・賃金は上昇しているといわれるが、同時に物価も上昇しているため実感がない。個人消費も伸びていないため、企業の物量は鈍化傾向である。
	□	輸送業（従業員）	取引先の様子	・自社が荷受人から預かる取扱物量は3か月前と比べて横ばいであり、景気は変わっていない。
	□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3月は繁忙期であり受注量もほぼ例年並みであったが、その反動か4月は今のところ落ち着いている。例年4月は同様の状況であるが、今年はいつもの以上に静かで、連休前のパタパタもさほどみられない。新年度の開始としては少し物足りない。
	□	通信業（法人営業担当）	受注量や販売量の動き	・国際調達となる高額入札案件が少なくなった。例年、年度末から年度初めにかけては5000万円超レベルの案件の値決めに苦労していたが、今年度は1案件しかなかった。案件を一括調達しないで小分けにすることでこのような見え方になっているのか、そもそも大規模投資が減っているのかは不明である。
	□	金融業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・中小企業ではまだ賃上げや仕入価格の上昇を受注価格に転嫁できていないため、原価率が上がり、経営には負担が大きい。
	□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨の日は多いが、暖かい日が多いこともあり、徒歩や自転車での外出や車での外出が増加傾向にある。今月の売上は前年をやや上回る状況である。
	□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新年度になっても物価高は継続しているため、企業側からの広告発注量は余り変わらず、特に変化はみられない。
□	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注価格や販売価格の動き	・取引業者は人事異動の時期にあり、後任引継ぎ前に取扱リース物件などを整理し入替えを提案しているため、一時的な固定取引が増加した。長期的にみれば、経営安定につながる。	
□	公認会計士	取引先の様子	・米国の関税による世界経済の不確実性が高まり、様子見をしている企業が多い。自動車産業や外国人向けの需要が多く、売上が前年を上回る企業が多い。しかし、物価高による原材料の価格上昇を上回るほどの売上はなく、利益ベースで見ると横ばいである。	

	□	会計事務所（職員）	それ以外	・1日2公演を2日間行うイベントに参加した。全4回の公演全てに参加すると特典があったが、1公演約2万円のチケットを4枚買った人がおよそ100人おり、飛行機で来た人もいる。こういうケースを目にすると、景気は良い方向に向かっていると実感する。
	▲	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・秋に値上げした商品の販売数量が減少しており、消費者の商品選択基準が非常に厳しくなってきたことを実感する。
	▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・米国大統領の関税引上げの発表は自動車業界を中心に全ての業界に影響があり、受注量、販売量共に減少して、景気はやや悪化した。
	▲	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・米国の関税がどうなるのか様子見ということで、北米や中国での半導体向け設備投資がやや低調である。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・関税の影響が出ている。
	▲	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・米国の関税によってビジネスが停滞している。この問題が解決するまで、思い切った投資は難しい。
	▲	通信業（総務担当）	それ以外	・物価高騰に歯止めがかからず、日々値上げラッシュが続いて生活苦に陥っているため、現役世代も年金世代も四苦八苦しており、景気の良しあしを語る余裕がない。
	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・米価格や物価の上昇により生活費が膨張し、日常生活が苦しくなっているという声が多い。
	▲	金融業（従業員）	それ以外	・身の回りの様子から、あらゆる物価の上昇に歯止めがかからず、苦しい生活状況が続いている印象を受ける。一部減税や補助金もあるが、良い影響は限定的である。
	▲	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気が停滞しているが、こういうときこそ先駆けて新しいことや技術を投入しなければ半年後に遅れを取る。
	×	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当地域の企業の設備投資などが、自動車関税の今後の動きが見えないことで停滞している。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に減少しており、引き合いも減少している。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数が3月と比較し同程度で変わらない。しかし、求人者、求職者共に要求水準が高くマッチングには苦戦している。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・中小企業における新入社員の入社は少なく、賃上げにおいても大手企業のように大幅アップとまではいかないため、人材確保が深刻な問題となっている。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・医療、介護、保育、警備、建設や運輸の人手不足分野を中心に人手不足の企業がある。一方で、技能実習生などの活用による体制確保のほか、一部企業からは業務効率化などにより人手不足が緩和しているといった声を聞いた。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数について、3か月前と比較して全体的に1.0%減少し微減となった。産業別では、製造業、医療福祉業の新規求人数が大幅に増加、建設業、運輸・郵便業、卸売小売業や宿泊・飲食サービス業の新規求人数は減少した。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・人手不足感や人件費、材料価格の高騰で減益傾向ではあるものの、DX化等に取り組む企業が多数見受けられ、飲食業で大きな増益としている企業もある。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・人材不足の状況は継続しているものの、価格高騰、価格転嫁の低迷、賃上げなどで、中小企業からの求人数が減少傾向にある。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・米国からの追加関税施策の影響により、採用を手控える法人側の動向が見られる。

▲	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・引き続き物価高の波は収まる気配がなく、更に上昇していることから中小企業を中心に利益確保が困難な状況に陥っている。
▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前月は法人関係の送別会の利用が多かったが、今月に入ってから新人研修会が思いの外少ない。
▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・米国の関税の影響がある。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・これまで人材紹介会社に自社の求人作成依頼を行うと完了まで1か月以上掛かっていたが、今月は10日程で作成が完了しており、周辺企業の求人作成依頼件数が減っている可能性がある。人材紹介会社からも、米国の関税の影響で周辺企業は様子見の姿勢と聞いており、東海エリアでの求人量の増加ペースは一服していると推察する。
▲	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・通常4月は採用者数が増加する傾向にあるため、3か月前比で採用者数は増加しているが、前年同月比では採用者数はマイナスとなっている。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・3月の転職需要が一旦落ち着いたため、求人数、求職者数は前月と比べて減少した。
▲	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・日米の株価変動が不安定である。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・2024年度の企業業績は、業種や事業内容によって格差が生じた。最高益を出す企業もあれば、厳しい業績に終わった企業もあった。一方4月は米国の関税の動きが当地域の輸出関連企業を中心に不安感を与えるなど全体的に下向きの状況となっている。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数を前年同月比で見ると、ほぼ全ての産業で減少しており、特に飲食・宿泊業や卸売小売業等での減少が大きくなっている。
×	—	—	—